

第93回抗がん剤研修会（集中講義）参加者アンケート

開催日時： 2020年1月19日（日） 9：15～17：00

開催場所： 日本薬科大学 講義棟3 731/732講義室

講演1 容姿の変化を相談されたら？「薬剤師が行うアピアランスケア」

上尾中央総合病院 薬剤部 日野 亜莉沙 先生

講演2 血管外漏出が起こったら？「血管外漏出の実際 どのように発見し、治療する？」

防衛医科大学校病院 薬剤部 相澤 雄介 先生

特別講演① 抗がん薬暴露が起こったら？「抗がん薬曝露に関する患者指導」

埼玉県立小児医療センター 薬剤部 副技師長 中山 季昭 先生

講演3 「がん治療に必要な支持療法」

独協医科大学埼玉医療センター 薬剤部 酒井 鉄平 先生

「検査値から読み解く抗がん剤副作用対策」

日本赤十字社医療センター 薬剤部 立田 真也 先生

「腎臓病薬物療法認定薬剤師が解説！検査値付き処方箋の活用方法」

戸田中央総合病院 薬剤部 主任 稲 秀士 先生

「がん治療における最近の話題」

大鵬薬品工業株式会社 学術部

特別講演② 「抗がん薬と検査値について」～医師の立場から～

戸田中央総合病院 腫瘍内科部長 相羽 恵介 先生

総合評点

3.5

(4件尺度)

研修者数	アンケート提出数	アンケート回収率	アンケート意見あり（枚）
285	282	99%	67

評価記入---4. とても適切 3. 適切 2. やや不適切 1. 全く不適切

1. 本研修会の開催をどこで知ったか

郵送されたポスター	送信されたFAX	メール	HP	メルマガ	その他
14	131	11	104	13	9

2. メールマガジンを知っているか

知っている	知らない	無回答
102	168	12

登録済み	登録していない	無回答
49	44	189

3. 性別と年代

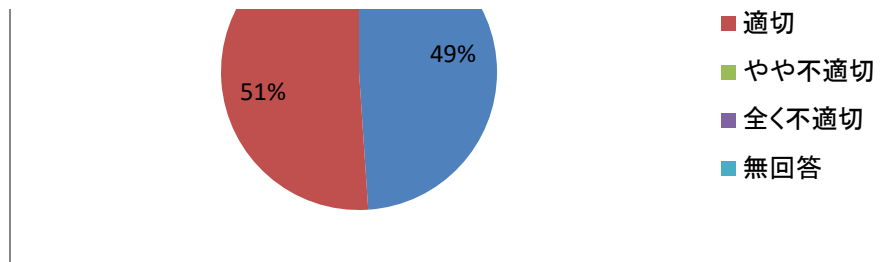
男	女	無回答
122	154	6

20代	30代	40代	50代	60歳以上	無回答
90	78	52	39	17	6

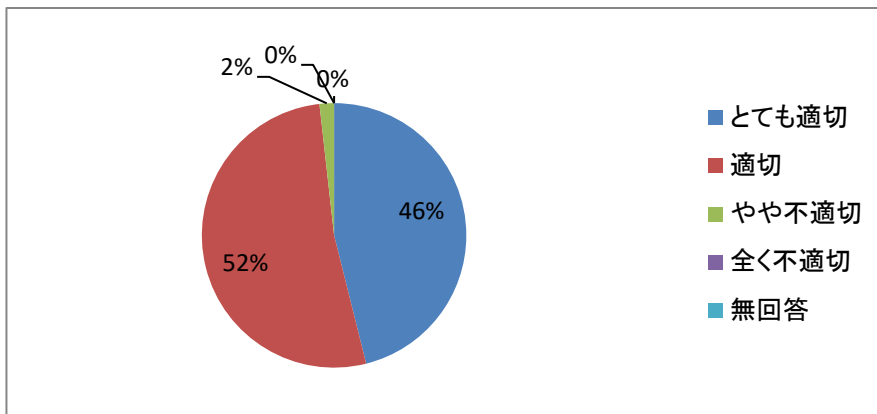
4. 講演テーマについて

4-①	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
講演1	138	144	0	0	0	3.5

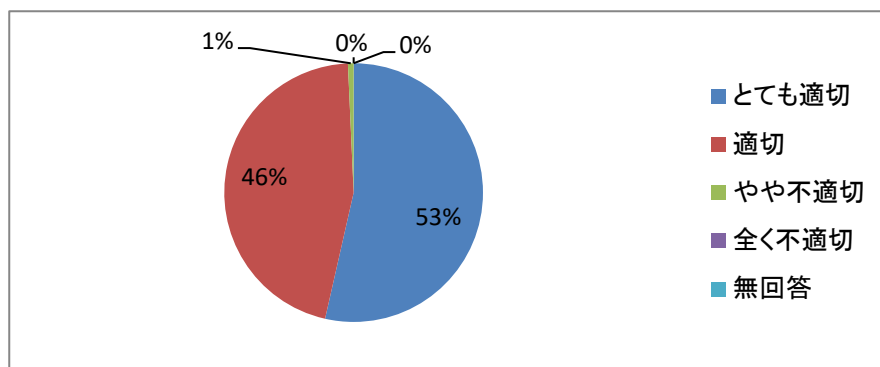




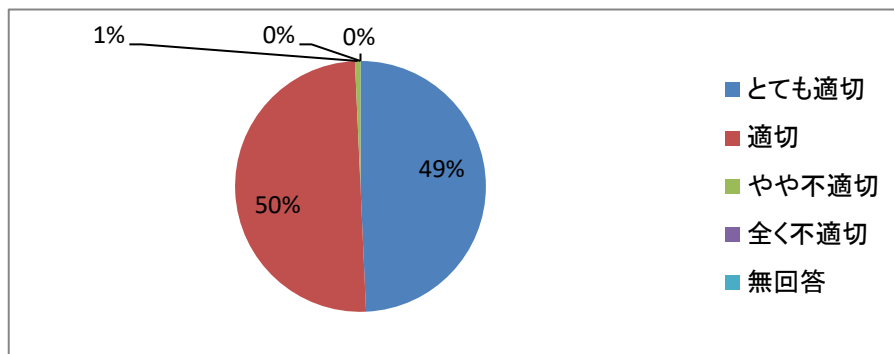
4-②	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
講演 2	130	147	5	0	0	3.4



4-③	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
特別講演①	151	129	2	0	0	3.5

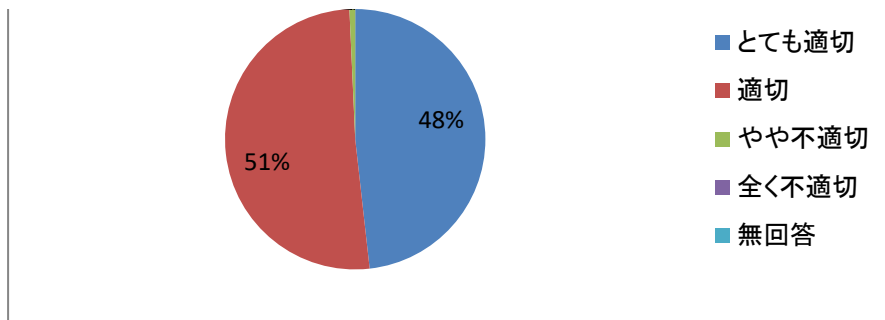


4-④	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
講演 3	139	141	2	0	0	3.4

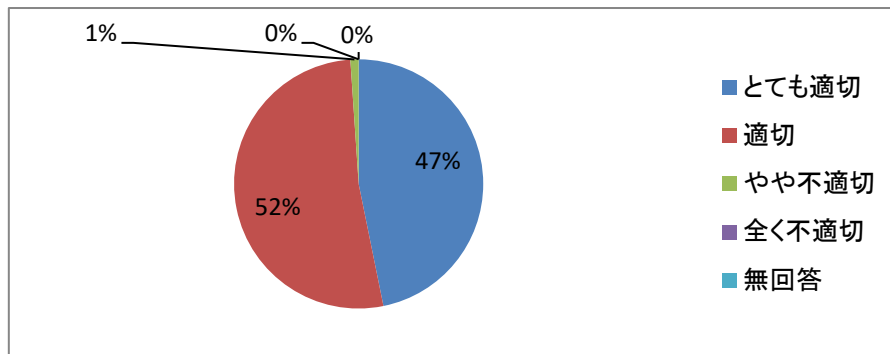


4-⑤	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
講演 3	136	144	2	0	0	3.5

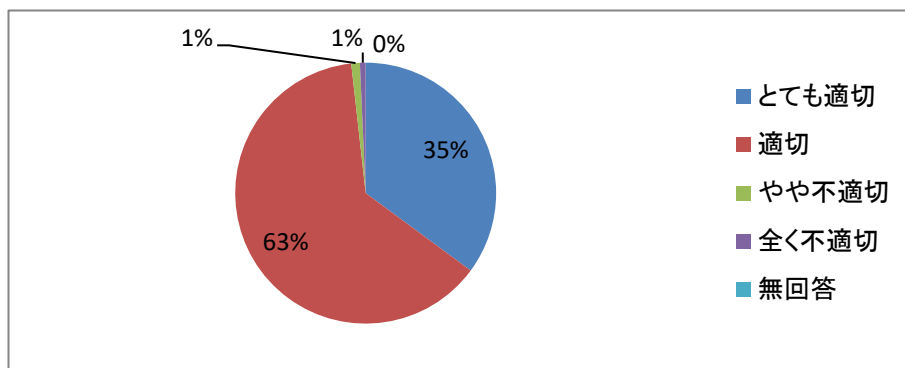




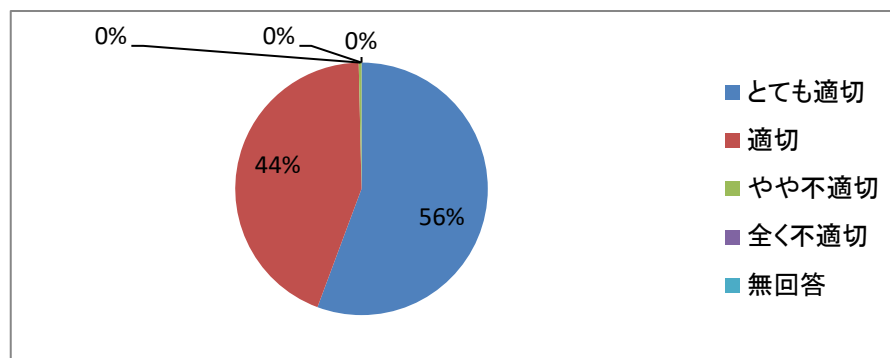
4-⑥	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
講演3	132	147	3	0	0	3.3



4-⑦	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
講演3	99	178	3	2	0	3.3

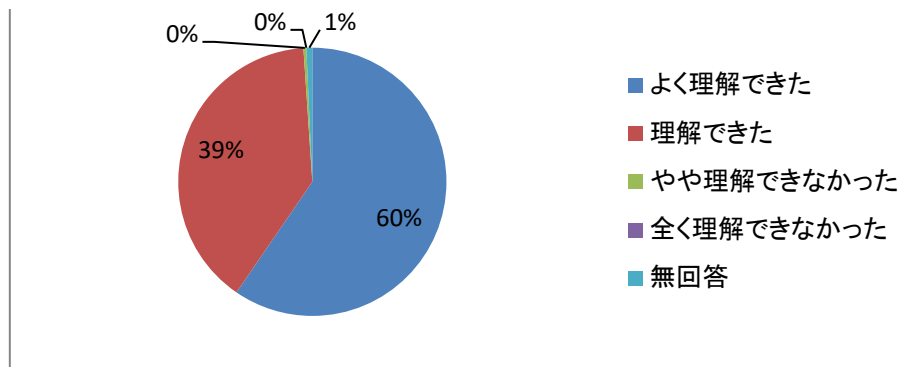


4-⑧	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
特別講演②	157	124	1	0	0	3.6

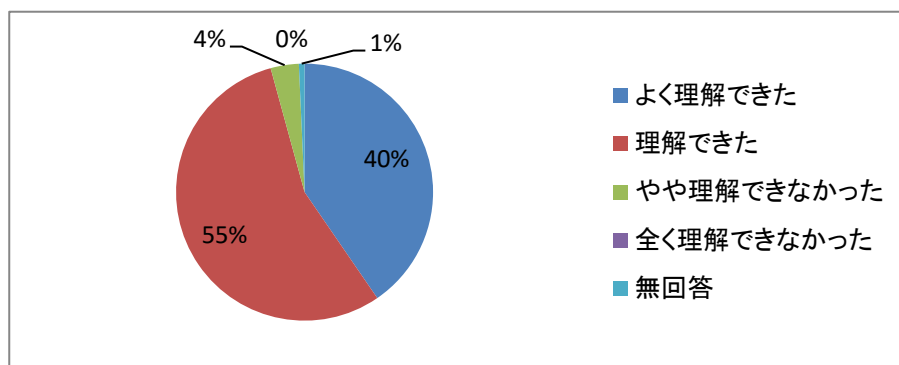


5. 講演内容について

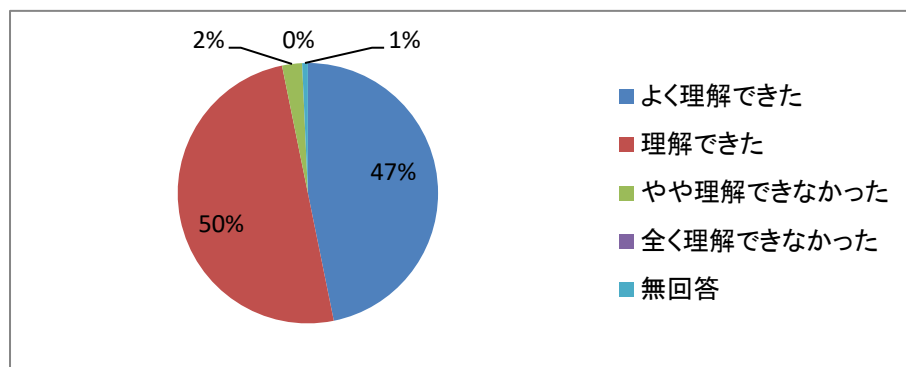
5-①	よく理解できた	理解できた	やや理解できなかった	全く理解できなかった	無回答	平均
講演1	168	111	1	0	2	3.6



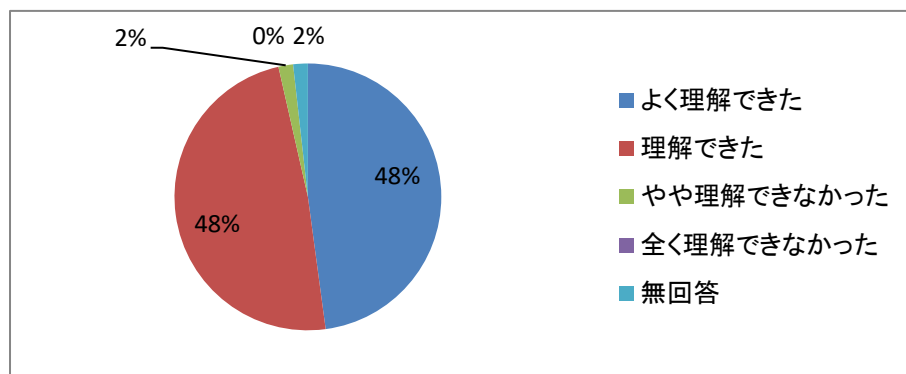
5-②	よく理解できた	理解できた	やや理解できなかった	全く理解できなかった	無回答	平均
講演 2	114	156	10	0	2	3.4



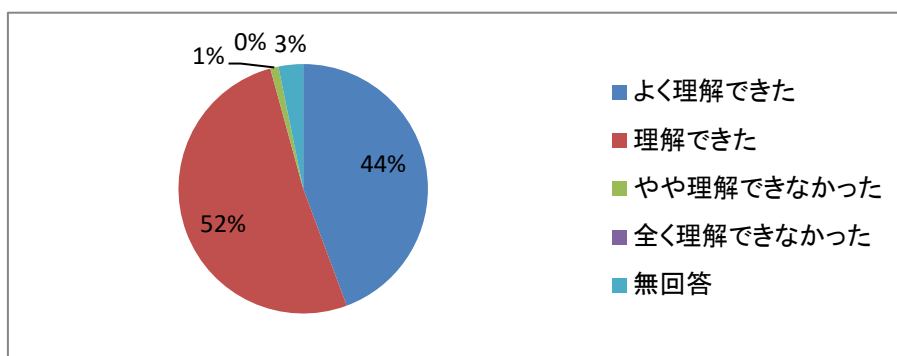
5-③	よく理解できた	理解できた	やや理解できなかった	全く理解できなかった	無回答	平均
特別講演①	132	141	7	0	2	3.5



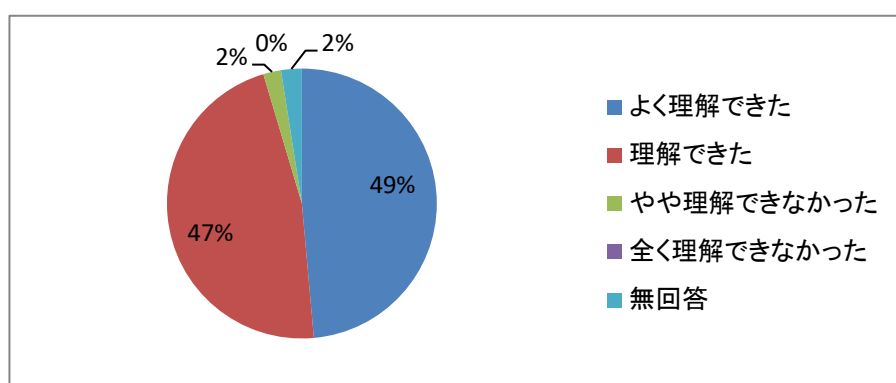
5-④	よく理解できた	理解できた	やや理解できなかった	全く理解できなかった	無回答	平均
講演 3	135	137	5	0	5	3.5



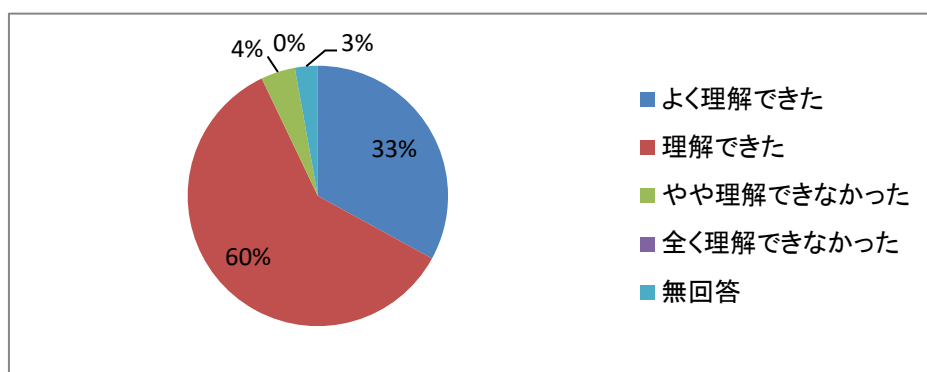
5-⑤	よく理解できた	理解できた	やや理解できなかった	全く理解できなかった	無回答	平均
講演 3	125	145	3	0	9	3.5



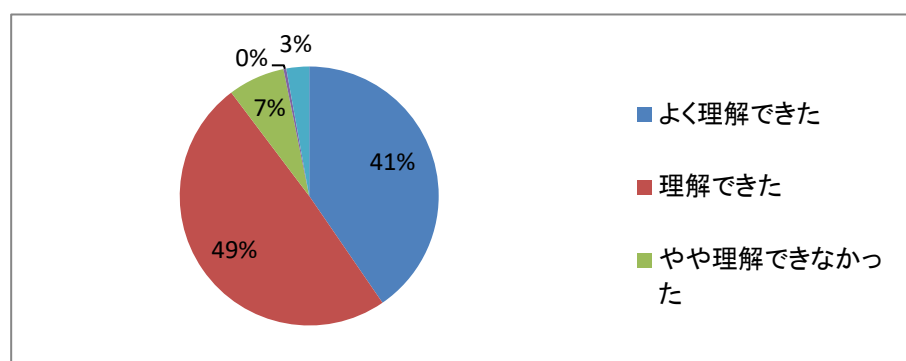
5-⑥	よく理解できた	理解できた	やや理解できなかった	全く理解できなかった	無回答	平均
講演3	137	132	6	0	7	3.5



5-⑦	よく理解できた	理解できた	やや理解できなかった	全く理解できなかった	無回答	平均
講演3	93	169	12	0	8	3.3

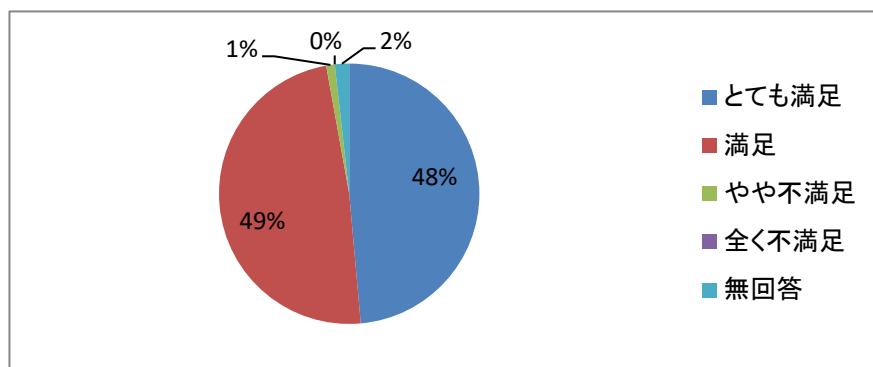


5-⑧	よく理解できた	理解できた	やや理解できなかった	全く理解できなかった	無回答	平均
特別講演②	114	139	20	1	8	3.3



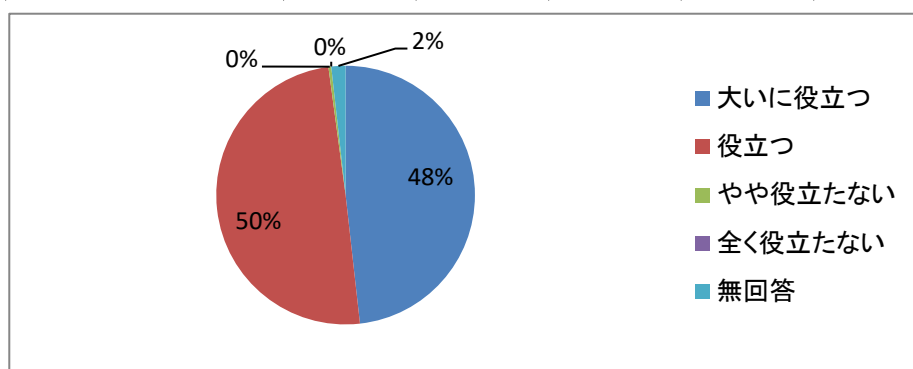
6. 本研修会の印象について

6	とても満足	満足	やや不満足	全く不満足	無回答	平均
	137	137	3	0	5	3.5



7. 本研修会で学び今後の業務に役立つか

7	大いに役立つ	役立つ	やや役立たない	全く役立たない	無回答	平均
	136	140	1	0	5	3.5



アンケート意見 (67枚)

4. 講演テーマについて

4-①	普段あまり気にすることのないテーマだったのでよかった	1
4-②	外来ではあまり対応する事はないが、分かりやすかった	1
4-③	保険薬局でも日常に役立つ知識だった	1
4-④	S.E対策がよく分かった	1
	もう少しゆっくりと話してほしかった	1
4-⑤	もう少し色々な検査値からの症例が知れたかった	1
4-⑥	数値の活用が役に立ちそうだった	1
4-⑧	分かりやすかった	1
	医師の診断の進め方が勉強になった	1
	抗がん薬治療と検査値について知れたかった	1
	薬に関してあまり触れていなかった	1

5. 講演内容について

5-①	外来で伝えられそうだった	1
5-②	対応が分かりやすかった	1
	理解不足な点があった	1
5-④	自分の勉強不足と話すスピードが早くて内容についていけなかった	2
	内容が多いにも関わらず、講演時間が短かった	1
5-⑤	数値とのつながりをもっと知れたかった	1
	知識不足でやや理解できなかった	1
5-⑥	難しい数値も分かりやすかった	1
	医師への情報提供の仕方がとてもよかった	1
	もっと勉強しないと日常に活用できないと思った	1
5-⑦	話題の薬を使用していなかった	1
5-⑧	親しみやすく分かりやすかった	2

もう少し長く細かく聞きたかった	1
症例の検査は難しかった	1
興味深い内容だったが少し難しかった	3
自分の知識不足でやや理解できなかった	2
知らないことばかりだった	4
最後の20分ぐらいの進行が早くて難しく感じた	1
7. 本研修会で学んだことは、今後の業務に役立つか	
今後、在宅などで抗がん剤使用機会が増えると思うので役立つと思う	1
8. 今後取り上げてほしいテーマについて	
感染症	1
肺がん	1
前立腺がん	1
小腸がん	2
腎細胞がん	2
がん遺伝子パネル検査	1
免疫チェックポイント阻害薬	1
精神疾患	1
妊婦の薬物治療について	1
婦人科領域	1
小児在宅	2
透析	2
血液内科の治療	1
介護者への服薬指導や薬剤管理	1
患者から副作用症状を上手に聞き出す方法	1
循環器	1
咽頭	1
消化器	2
嚥下	1
膀胱	1
うつ病	1
緩和ケア	1
緩和ケアの薬薬連携	1
疼痛コントロール	2
免疫関連有害事象対策の薬剤師の関わり	1
臨床的な吸入デバイス使い分け	1
術式について	1
症例検討	1
統計	1
スポーツファーマシスト	1
災害時の調剤	1
医師から見た鑑別診断や診察の際に見ているポイントを学びたい	1
新人薬剤師ができること	1
初歩的なこと	1
各レジメン内容と副作用対策	1
レジメンの有用性	1
論文作成のノウハウ	1
AML	1
ALL	1
ゲノム	1
AYA世代	1
相羽先生の検査値についての講義の続き	2
相羽先生の研修会をもっと行ってほしい	1
9. 本研修会で気づいたこと・質問・希望	
大変勉強になった	4
先生方の考え方を知れて勉強になった	2
あまり抗がん剤にふれることが少ないので参考になった	2
臨床で実際に役立つ話ばかりで大変勉強になった	1
抗がん剤の副作用について基本的な考え方を学べた	1
抗がん剤の副作用の発症時期などが明確に分かりよかった	1
血液データの見方が分かり、とても勉強になった	1

相羽先生の実臨床に基づいたデータの見方や説明はとてもよく分かった	2
相羽先生の貧血についての話はとても面白かった	4
稲先生の腎機能からみた副作用モニタリングは興味深かった	1
抗がん剤治療に関連する基本的な知識、その際の対応や対策について深く理解することができた	1
今まで抗がん剤については、病院薬剤師もしくは門前薬局の問題だと思っていたが、今は通院によってがん治療を行うようになり、地域の人々もそのような場面になる事を考えれば、町の調剤薬局もこうした研修会に参加する意義があることを考えさせられた	1
薬局薬剤師にととてもためになる情報ばかりで学びの多い内容だった	1
日々の業務に活用したいと思う	2
広く深い研修会だった	1
薬局という環境を活かした提案を積極的に行いたいと思った	1
容姿の変化についてとても興味を感じた	2
午後からの研修は学ぶことが多かった	1
今後も多くのことを学んでいこうと思った	1
資料の文字を大きくしてほしい	2
研修資料をカラーにしてほしい	1
時間厳守で行ってほしい	1
座長が時間にルーズなのが一番困る	1
昼食は弁当の手配をしてほしい	1
血管外漏出の予防対策で投与量が多いと漏出のリスクがあるとのことだったが、100mg/m ² 以上のイリノテカン投与時は添付文書上500ml以上の輸液となっているが、FOLFIRIでは250mlのブドウ糖輸液を使用していると思う。ポートからの使用のため250mlでも可という考えでよいのか？ここでXELIRIの場合は末梢からになってしまうが、500mlのブドウ糖輸液がよいのか？輸液量が多い分漏出のリスクも高くなるということなのか？	1